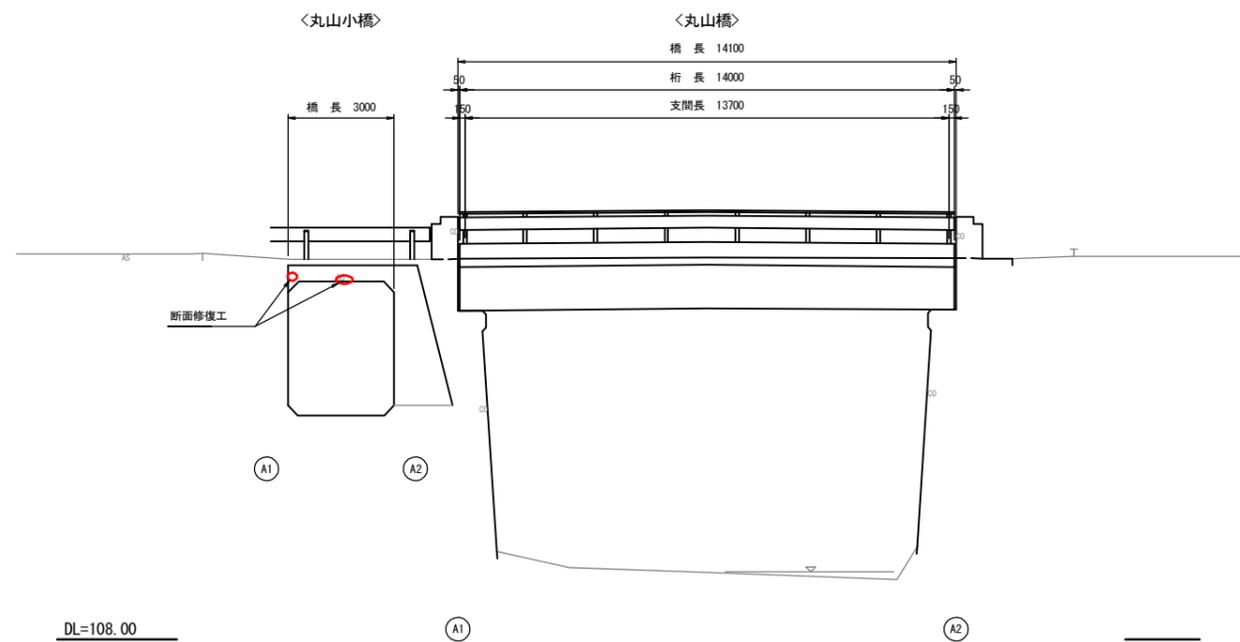




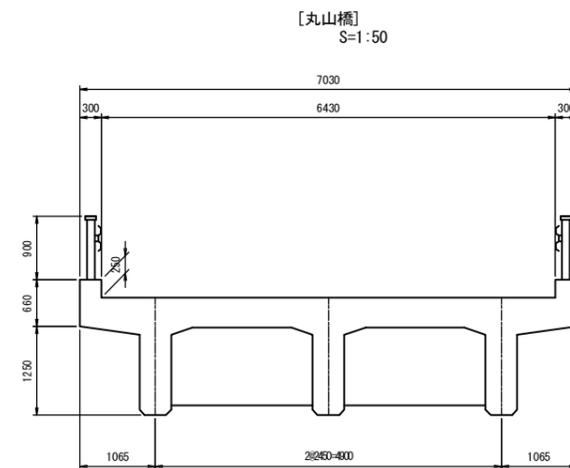
# 対策一般図

(丸山橋)

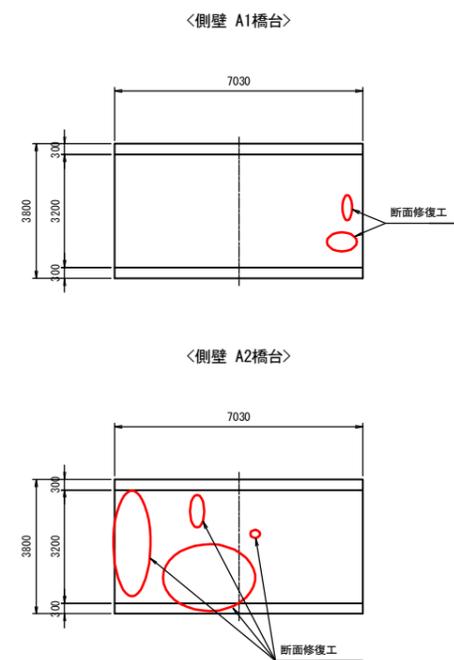
側面図  
S=1:100



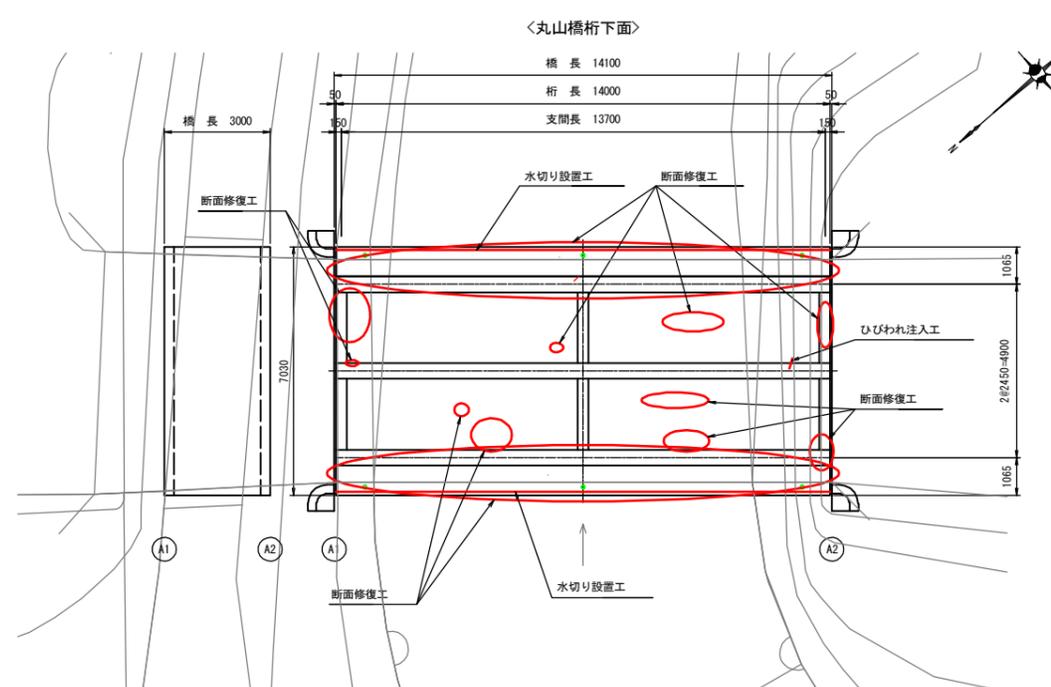
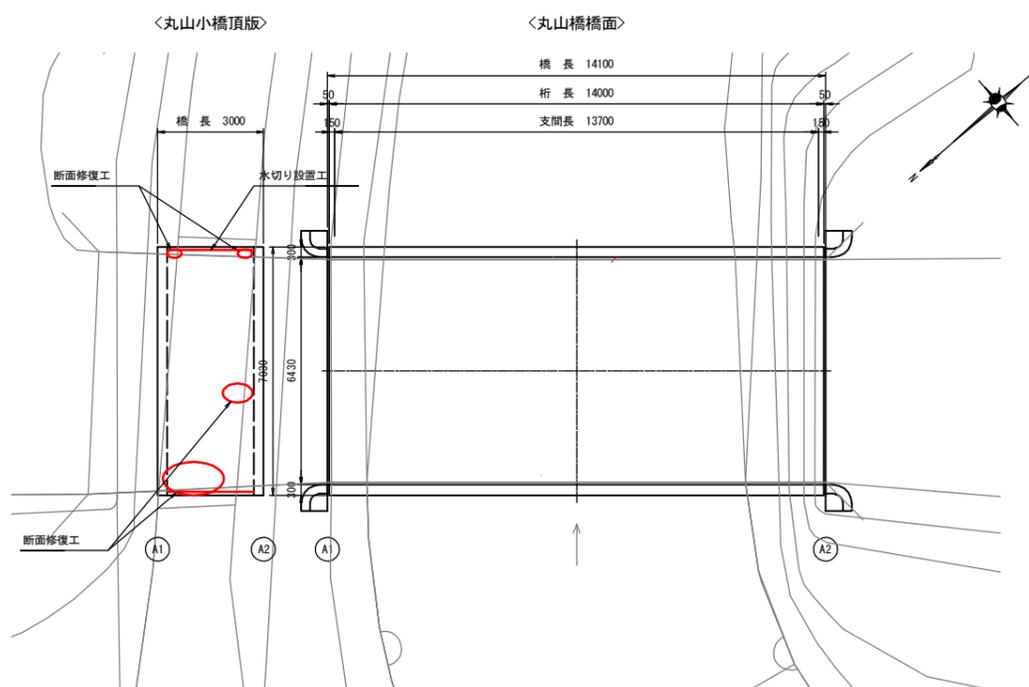
断面図



[丸山小橋]  
S=1:100



平面図  
S=1:100



工事名	令和元年度 社会資本整備総合交付金補償見直し等事業 市道子々谷橋丸山橋橋脚修復工事		
図面名	対策一般図		
年月日			
縮尺	図示	図面番号	2
会社名			
事業者名	伊賀市 道路河川課		

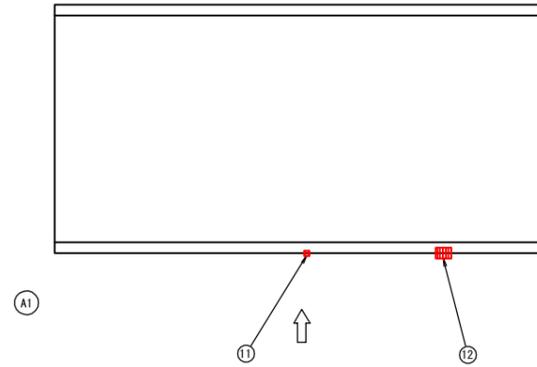
A3出力時は、表記縮尺の倍です。

# 上部工補修図(1)

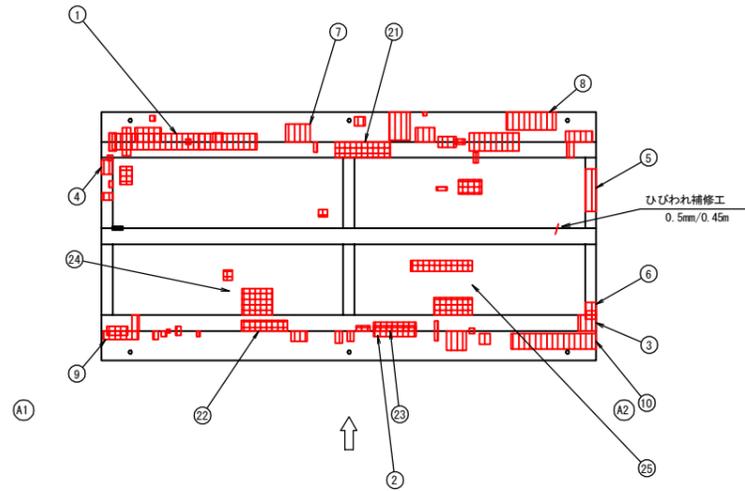
(丸山橋)

[丸山橋]

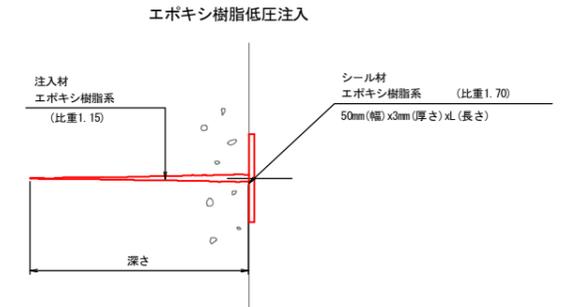
橋面図  
S=1:100



桁下面図  
S=1:100

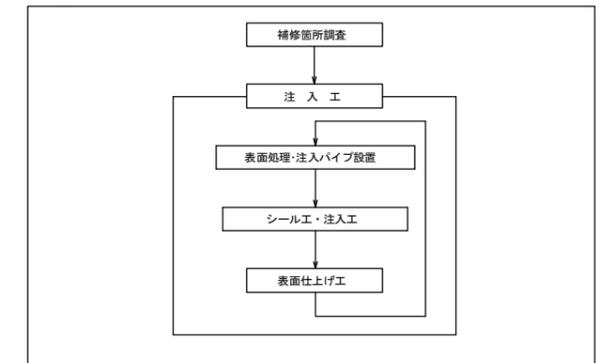


ひびわれ注入工  
S=None



施工手順

ひびわれ注入工



断面修復工A集計表

番号	損傷の種類	部材名	W(m)	L(m)	t(m)	N(箇所)	A(m <sup>2</sup> )	V(m <sup>3</sup> )
①	剥離・鉄筋露出	主桁	0.450	4.100	0.100	1	1.845	0.1845
②	剥離・鉄筋露出	主桁	0.300	1.200	0.180	1	0.360	0.0648
③	剥離・鉄筋露出	主桁	0.450	0.500	0.070	1	0.225	0.0158
合計							2.430	0.2651

断面修復工B集計表

平均厚50mm

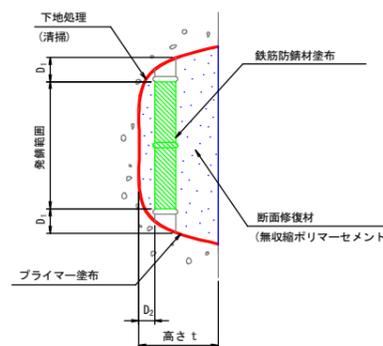
番号	損傷の種類	部材名	W(m)	L(m)	t(m)	N(箇所)	A(m <sup>2</sup> )	V(m <sup>3</sup> )
④	剥離・鉄筋露出	横桁	0.300	0.400	0.050	1	0.120	0.0060
⑤	剥離・鉄筋露出	横桁	0.300	1.200	0.050	1	0.360	0.0180
⑥	剥離・鉄筋露出	横桁	0.300	0.350	0.050	1	0.105	0.0053
⑦	剥離・鉄筋露出	床版	0.500	0.700	0.050	1	0.350	0.0175
⑧	剥離・鉄筋露出	床版	0.500	1.400	0.050	1	0.700	0.0350
⑨	剥離・鉄筋露出	床版	0.250	1.000	0.050	1	0.250	0.0125
⑩	剥離・鉄筋露出	床版	0.450	2.400	0.050	1	1.080	0.0540
⑪	剥離・鉄筋露出	地覆	0.150	0.150	0.050	1	0.023	0.0012
⑫	剥離・鉄筋露出	地覆	0.300	0.450	0.050	74	0.135	0.0068
合計							3.123	0.1563

断面修復工C集計表

平均厚30mm

番号	損傷の種類	部材名	W(m)	L(m)	t(m)	N(箇所)	A(m <sup>2</sup> )	V(m <sup>3</sup> )
⑭	うき	主桁	0.450	1.550	0.030	1	0.698	0.0209
⑮	うき	主桁	0.300	1.300	0.030	1	0.390	0.0117
⑯	うき	主桁	0.250	1.200	0.030	1	0.300	0.0090
⑰	うき	床版	0.250	0.300	0.030	1	0.075	0.0023
⑱	うき	床版	0.750	0.850	0.030	1	0.638	0.0191
⑲	うき	床版	0.300	1.750	0.030	1	0.525	0.0158
⑳	うき	床版	0.500	1.100	0.030	1	0.550	0.0165
合計							3.176	0.0953

断面修復工A 詳細図  
S=None

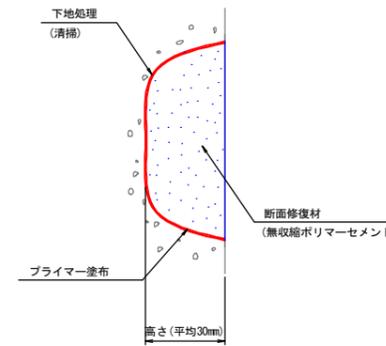


- 【施工手順】
- 脆弱部除去
  - ↓
  - 鉄筋の錆除去
  - ↓
  - プライマー塗布
  - ↓
  - 鉄筋防錆材塗布
  - ↓
  - 断面修復材充填
  - ↓
  - 完了

(注記)

- 剥離及び浮上コンクリートは、ハンマー等で完全に除去し、鉄筋がある場合は発錆範囲+D<sub>1</sub>まではつり出す
- 錆が鉄筋の表面まで達する場合は、鉄筋防錆材塗布が可能な深さD<sub>2</sub>まで、はつりとする
- 鉄筋は、ワイヤーブラシ等で錆を除去し、鉄筋防錆材を塗布する

断面修復工C 詳細図  
S=None

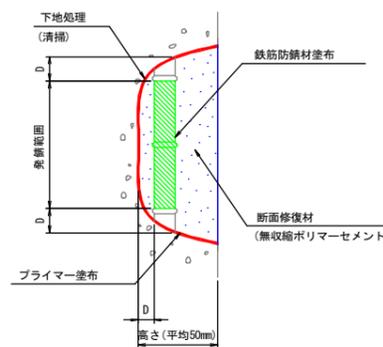


- 【施工手順】
- 脆弱部除去
  - ↓
  - プライマー塗布
  - ↓
  - 断面修復材充填
  - ↓
  - 完了

(注記)

- 剥離及び浮上コンクリートは、ハンマー等で完全に除去し、鉄筋がある場合は発錆範囲+D<sub>1</sub>まではつり出す

断面修復工B 詳細図  
S=None



- 【施工手順】
- 脆弱部除去
  - ↓
  - 鉄筋の錆除去
  - ↓
  - プライマー塗布
  - ↓
  - 鉄筋防錆材塗布
  - ↓
  - 断面修復材充填
  - ↓
  - 完了

(注記)

- 剥離及び浮上コンクリートは、ハンマー等で完全に除去し、鉄筋がある場合は発錆範囲+D<sub>1</sub>まではつり出す
- 錆が鉄筋の表面まで達する場合は、鉄筋防錆材塗布が可能な深さD<sub>2</sub>まで、はつりとする
- 鉄筋は、ワイヤーブラシ等で錆を除去し、鉄筋防錆材を塗布する

ひびわれ注入工集計表

番号	部材名	W(m)	L(m)
①	主桁	0.5	0.45
合計		0.45	

## 凡例

損傷の種類	記号
ひびわれ	〜
剥離	○
鉄筋露出	⊕
遊離石灰	⊙
漏水	⊖
その他	○
うき	⊞

工事名	令和元年度 社会資本整備総合交付金補償費見直し化修繕事業 市道子々谷丸山橋橋脚補修工事
図面名	上部工補修図(1)
年月日	
縮尺	図示 図面番号 3
会社名	
事業者名	伊賀市 道路河川課

前回点検実施年度：H26

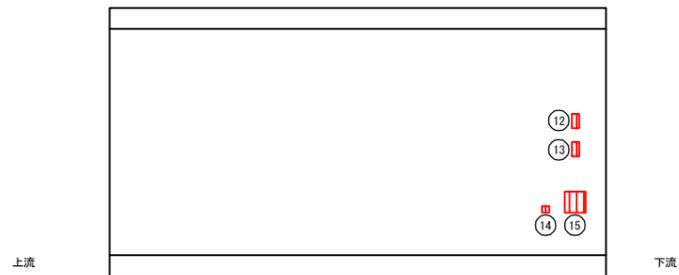
A3出力時は、表記縮尺の倍です。

# 上部工補修図(2)

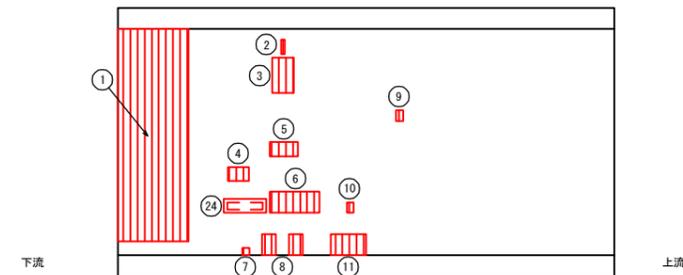
(丸山橋)

[丸山小橋]

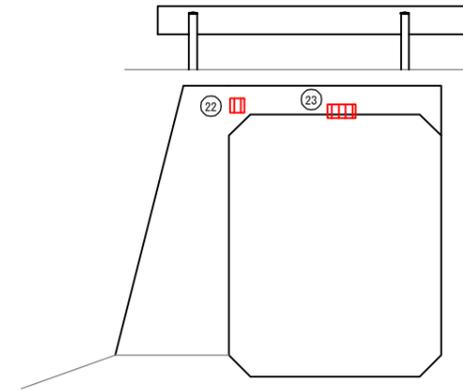
側壁(A1)  
S=T:50



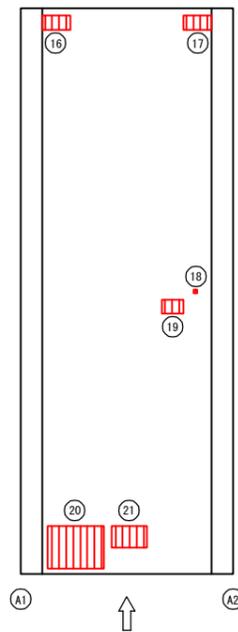
側壁(A2)  
S=T:50



側面図(下流側)  
S=T:50



頂版  
S=T:50



断面修復工B集計表

平均厚50mm

番号	損傷の種類	部材名	W(m)	L(m)	t(m)	N(箇所)	A(m <sup>2</sup> )	V(m <sup>3</sup> )
1	剥離・鉄筋露出	側壁(A1)	1.000	3.000	0.050	1	3.000	0.1500
2	剥離・鉄筋露出	側壁(A1)	0.050	0.200	0.050	1	0.010	0.0005
3	剥離・鉄筋露出	側壁(A1)	0.300	0.500	0.050	1	0.150	0.0075
4	剥離・鉄筋露出	側壁(A1)	0.200	0.300	0.050	1	0.060	0.0030
5	剥離・鉄筋露出	側壁(A1)	0.200	0.400	0.050	1	0.080	0.0040
6	剥離・鉄筋露出	側壁(A1)	0.300	0.700	0.050	1	0.210	0.0105
7	剥離・鉄筋露出	側壁(A1)	0.100	0.100	0.050	1	0.010	0.0005
8	剥離・鉄筋露出	側壁(A1)	0.200	0.300	0.050	2	0.120	0.0060
9	剥離・鉄筋露出	側壁(A1)	0.150	0.200	0.050	1	0.030	0.0015
10	剥離・鉄筋露出	側壁(A1)	0.100	0.150	0.050	1	0.015	0.0008
11	剥離・鉄筋露出	側壁(A1)	0.300	0.500	0.050	1	0.150	0.0075
12	剥離・鉄筋露出	側壁(A2)	0.100	0.200	0.050	1	0.020	0.0010
13	剥離・鉄筋露出	側壁(A2)	0.100	0.200	0.050	1	0.020	0.0010
14	剥離・鉄筋露出	側壁(A2)	0.100	0.100	0.050	1	0.010	0.0005
15	剥離・鉄筋露出	側壁(A2)	0.300	0.300	0.050	1	0.090	0.0045
16	剥離・鉄筋露出	側壁(A2)	0.200	0.400	0.050	1	0.080	0.0040
17	剥離・鉄筋露出	側壁(A2)	0.200	0.400	0.050	1	0.080	0.0040
18	剥離・鉄筋露出	側壁(A2)	0.050	0.050	0.050	1	0.003	0.0002
19	剥離・鉄筋露出	側壁(A2)	0.200	0.300	0.050	1	0.060	0.0030
20	剥離・鉄筋露出	側壁(A2)	0.600	0.800	0.050	1	0.480	0.0240
21	剥離・鉄筋露出	側壁(A2)	0.300	0.500	0.050	1	0.150	0.0075
22	剥離・鉄筋露出	側壁(A2)	0.200	0.200	0.050	1	0.040	0.0020
23	剥離・鉄筋露出	側壁(A2)	0.200	0.400	0.050	1	0.080	0.0040
合計							4.948	0.2475

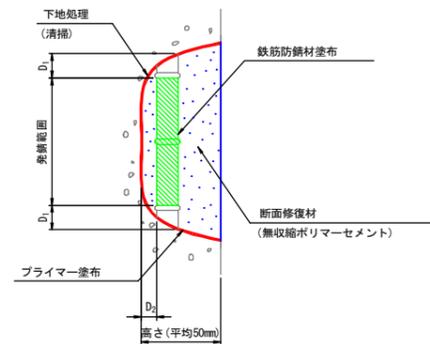
断面修復工C集計表

平均厚30mm

番号	損傷の種類	部材名	W(m)	L(m)	t(m)	N(箇所)	A(m <sup>2</sup> )	V(m <sup>3</sup> )
24	剥離	側壁(A1)	0.200	0.600	0.030	1	0.120	0.0036
合計							0.120	0.0036

断面修復工B 詳細図

S=None



【施工手順】

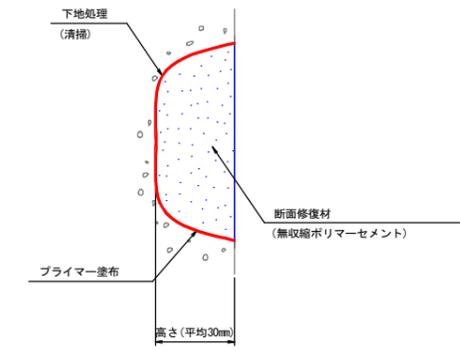
- 脆弱部除去
- ↓
- 鉄筋の露出
- ↓
- プライマー塗布
- ↓
- 鉄筋防錆材塗布
- ↓
- 断面修復材充填
- ↓
- 完了

(注記)

- 剥離及び浮上コンクリートは、ハンマー等で完全に除去し、(鉄筋がある場合は発錆範囲+D<sub>2</sub>までは取り出す)
- 錆が鉄筋の表面まで達する場合は、鉄筋防錆材塗布可能な深さD<sub>2</sub>まで、はつりとする
- 鉄筋は、ワイヤーブラシ等で錆を除去し、鉄筋防錆材を塗布する

断面修復工C 詳細図

S=None



【施工手順】

- 脆弱部除去
- ↓
- プライマー塗布
- ↓
- 断面修復材充填
- ↓
- 完了

(注記)

- 剥離及び浮上コンクリートは、ハンマー等で完全に除去し、

凡例

ひびわれ	縦方向	—
	横方向	~
剥離	1方向	⊖
	2方向	⊗
鉄筋露出		⊕
遊離石灰		⊖
漏水		⊖
その他		○
うき		⊕

A3出力時は、表記縮尺の倍です。

前回点検実施年度：H26

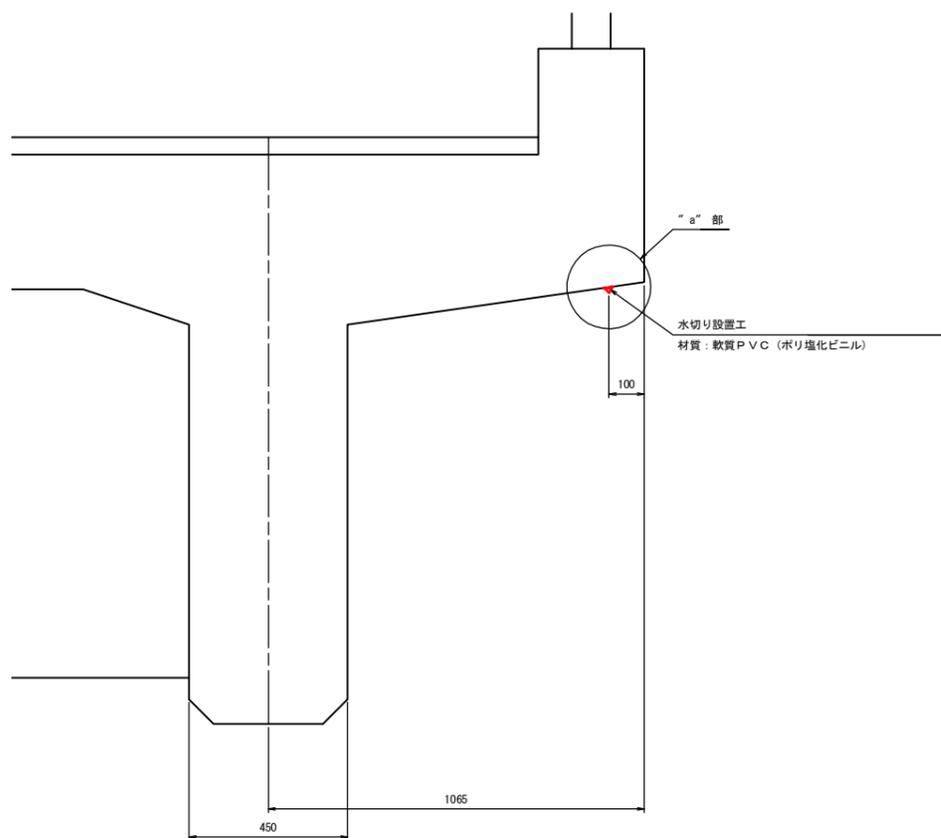
工事名	令和元年度 社会資本整備総合交付金補償費見直し事業 市道子々谷丸山橋補修工事		
図面名	上部工補修図(2)		
年月日			
縮尺	図示	図面番号	4
会社名			
事業者名	伊賀市 道路河川課		

# 水切り設置工詳細図(1)

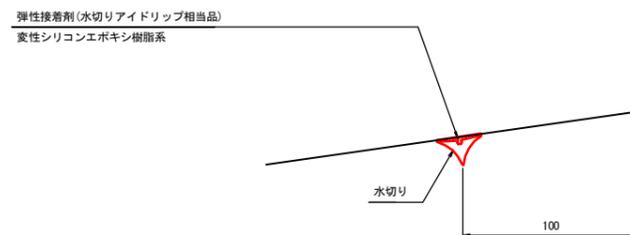
(丸山橋)

[丸山橋]

断面図  
S=T:10

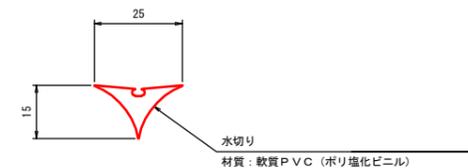


"a"部詳細図  
S=1:2

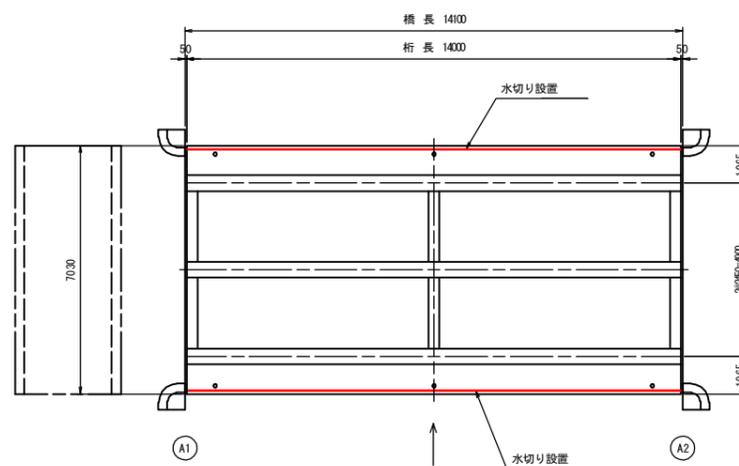


注) 接着面は清掃し、油分、ごみ等を取り除くこと。

水切り材断面図  
S=1:1



位置図  
S=T:100



注) 現地再計測の上、施工を行うこと。  
A3出力時は、表記縮尺の倍です。

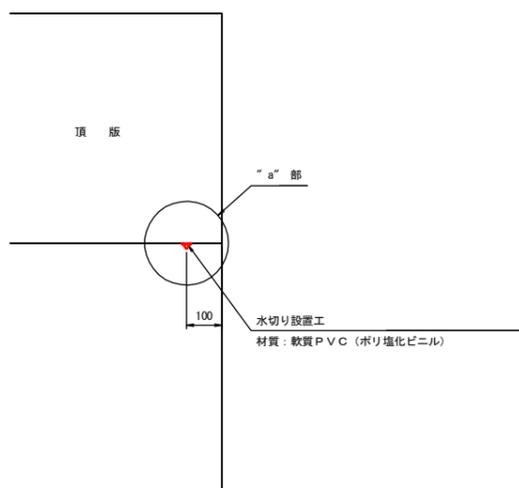
工事名	令和元年度 社会資本整備総合交付金補償見舞市化修繕事業 市道子々谷橋丸山橋補修工事		
図面名	水切り設置工詳細図(1)		
年月日			
縮尺	図示	図面番号	5
会社名			
事業者名	伊賀市 道路河川課		

# 水切り設置工詳細図(2)

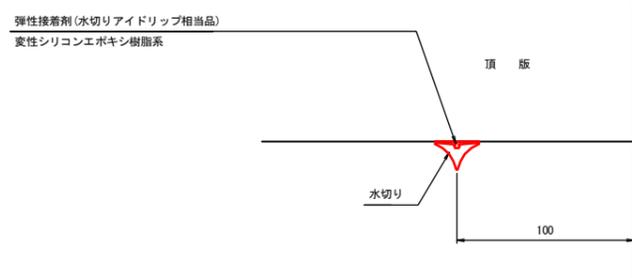
(丸山橋)

[丸山小橋]

断面図  
S=1:10

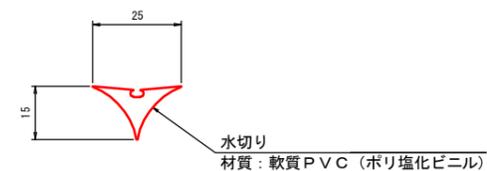


"a"部詳細図  
S=1:2

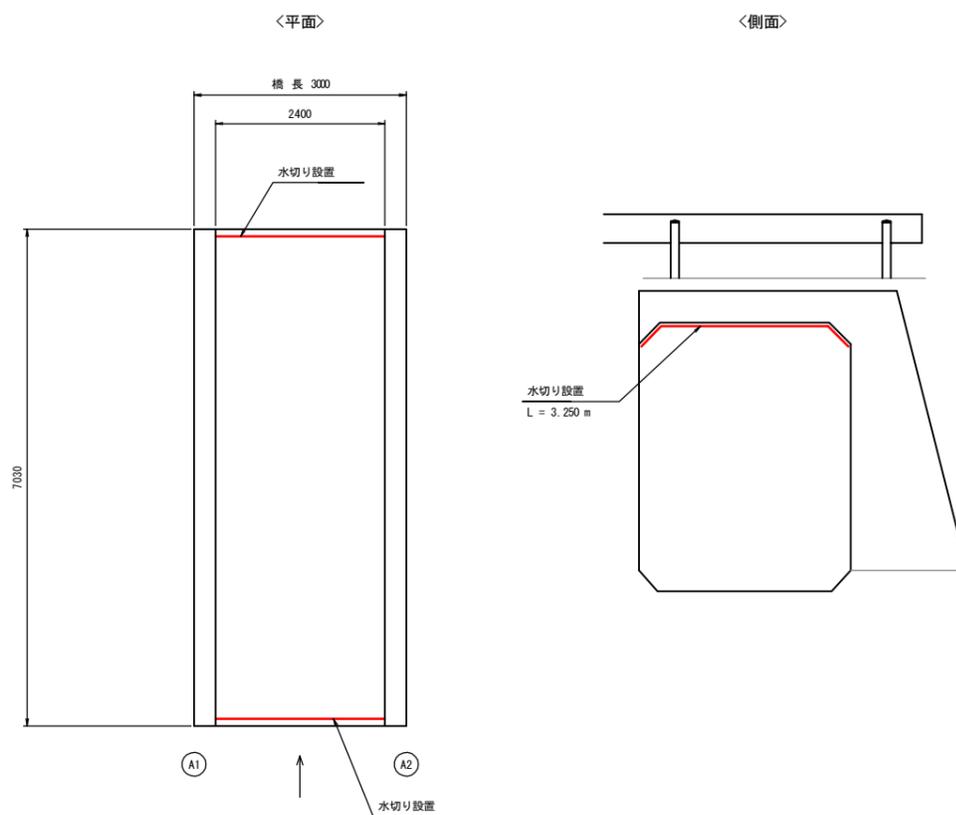


注) 接着面は清掃し、油分、ごみ等を取り除くこと。

水切り材断面図  
S=1:1



位置図  
S=1:50



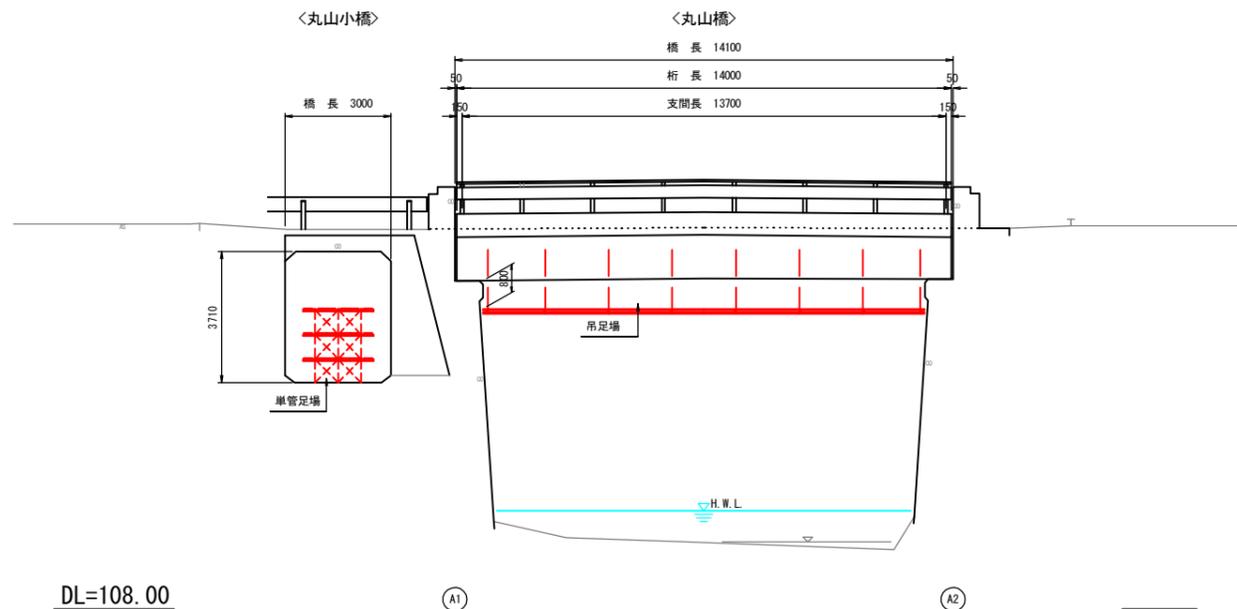
注) 現地再計測の上、施工を行うこと。  
A3出力時は、表記縮尺の倍です。

工事名	令和元年度 社会資本整備総合交付金補償見舞市化修繕事業 市道子々谷丸山橋補修工事		
図面名	水切り設置工詳細図(2)		
年月日			
縮尺	図示	図面番号	6
会社名			
事業者名	伊賀市 道路河川課		

# 足場架設図

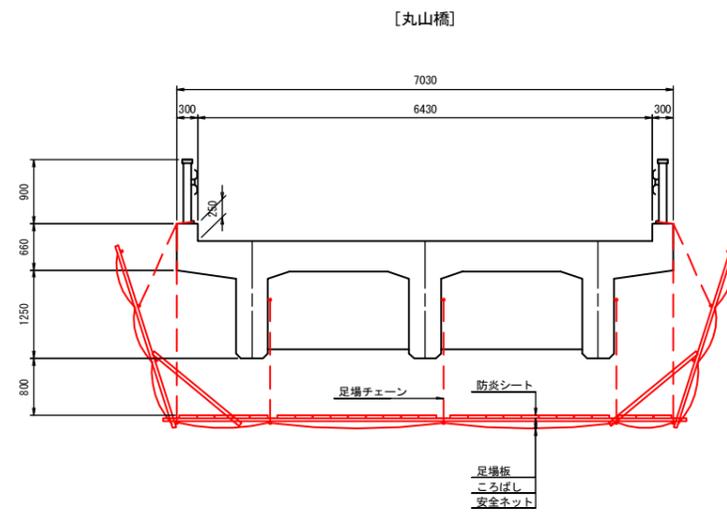
(丸山橋)

側面図  
S=T:100

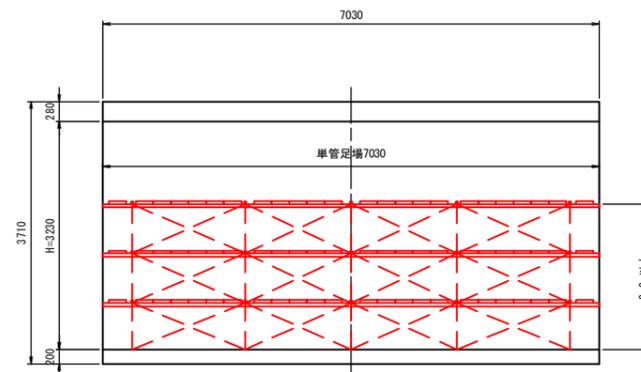


DL=108.00

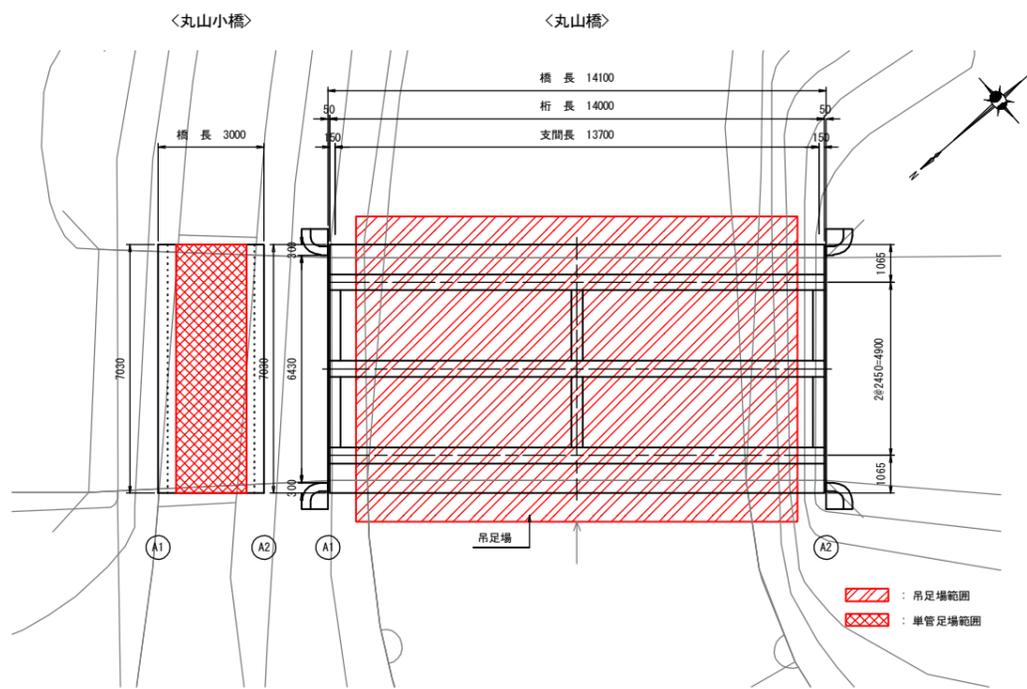
断面図  
S=T:50



[丸山小橋]



平面図  
S=T:100



▨ : 吊足場範囲  
▩ : 単管足場範囲

工事名	令和元年度 社会資本整備総合交付金補償見守り化修繕事業 市道子々谷橋丸山橋橋脚修繕工事		
図面名	足場架設図		
年月日			
縮尺	図示	図面番号	7
会社名			
事業者名	伊賀市 道路河川課		

A3出力時は、表記縮尺の倍です。